

2021 年 3 月 11 日

2021 年 2 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は小ロット物件の積み重ねが主で学参の動きが見られたものの、コロナ禍の下、全体的には受注の回復には至らず前年を下回った。

巻取は生損保の遅れ、金融関連含め他分野でも受注量の減少に歯止めがかからず、定期案件も部数等の減少が散見され前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 89.7% 巻取 58.0%）

再生紙は平判、巻取共に官公庁の受注減少が続いている一方、在庫が全体的に不足気味で急な発注に対応が出来ない状況であり、前年を大幅に下回った。

（前年比 再生上質平判 72.7% 再生上質巻取 53.2% 再生上質計 66.1%）

（前年比 印刷用紙 A 83.3%）

<A2 コート>

金融、生損保、自動車、不動産で一部新規の動きがあったが、部数の減少と緊急事態宣言発令以降、各業界において各種イベントの中止、延期で印刷物案件全般の需要が大きく減少し、平判、巻取とも前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 78.8% 巻取 86.2% 全体 80.7%）

<A3 コート>

学習塾、食品スーパー、ドラッグストアの定期的なチラシ案件と株主招集通知、自動車関連で一部新規の動きがあったが、継続的な紙離れとコロナ禍の影響により前年を下回った。

（前年比 平判 54.3% 巻取 107.7% 全体 84.5%）

<ノーカーボン紙>

平判は金融関連の動きも弱く、その他一般の帳票関連も冷え込んだ動きとなっており、前年を大幅に下回った。

巻取は生損保、金融関連の一般の動きも弱く若干コロナワクチン接種の需要が見られたが、細かい動きとなっており前年を下回った。

（前年比 平判 79.4% 巻取 91.5%）

<上質フォーム>

製紙メーカー休転による供給不足の影響も一部見られ、生損保、金融、官公庁の納付書をはじめ一般の動きも弱く、一部給付金関連の動きが見られたものの前年を下回った。

（前年比 86.5%）

<包装用紙>

特殊両更は政府系イベント用封筒、またコロナワクチン接種の封筒等の需要があり前年を上回った。

(前年比 105.5%)

軽包装は製本会社向け雑包装用途と、その他包装用途の落ち込みが依然続いているため前年を下回った。

(前年比 82.2%)

片艶晒は封筒とネット販売の包装紙に多少の動きは見られているが、客足が鈍っている店舗向けの角底袋が低調なままで前年を下回った。

(前年比 88.8%)

両更晒は保険会社向け封筒に一部動きがあったが、その他の用途に動きが見られず前年を下回った。

(前年比 98.8%)

色クラフトは医療関係封筒で一部動きがあったが、社用、事務用封筒の出荷が引き続き低調なままで前年を下回った。

(前年比 90.7%)

純白ロールは好調なスーパーマーケット向け包装紙に動きはみられているが、依然として土産品の包装紙などは回復しておらず前年を大きく下回った。

(前年比 81.5%)

包装紙全体でも 95.4%と前年を下回った。

<板紙>

コートボールはホワイトデーや土産品の需要もコロナ禍の影響で低調であった。食品関係はテイクアウト向けやレトルト食品などが堅調だった。

チップも出版関係はひと段落した感があり、音響関連の CD、DVD も低調で全体的には前年を下回った。

(前年比 89.2%)